

第6回アルツハイマー型痴呆に関するプレスセミナー 実施概要

■日 時 2004年6月4日(金) 12時30分～14時

■会 場 丸ビルホール

東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル7F ☎03-3217-7111

<交通>

JR「東京駅」下車 丸の内南口より徒歩1分

地下鉄丸の内線「東京駅」、千代田線「二重橋駅」より徒歩約1～2分



■実施内容

<1部> ご挨拶

駐日ドイツ連邦共和国臨時代理大使

Jörg Zimmermann 氏

日本の介護保険制度の現状と将来

厚生労働省老健局総務課課長

山崎 史郎 氏

「日本成年後見法学会」活動報告と今後の課題について

日本成年後見法学会 理事長

筑波大学大学院ビジネス科学研究科企業法学専攻教授 新井 誠 氏

<2部> 調査発表／痴呆に関する意識調査

東京都老人総合研究所痴呆介入研究グループ参事研究員

本間 昭 氏

■共 催 ドイツ-日本研究所、痴呆性高齢者の権利擁護に関する医学・法学研究会
エーザイ株式会社、ファイザー株式会社

■後 援 ドイツ連邦共和国大使館、日本成年後見法学会

■□■ワークショップ実施プログラム■□■

◆会場 丸ビルホール ※プレスセミナーと同会場となります。

◆開催時間 14:30～18:00

◆実施プログラム

時間	演題名	演者名(敬称略)
14:30 (10分)	「開会挨拶」	ドイツ-日本研究所 所長 イルメラ・日地谷ーキルシュネライト
14:40 (30分)	「今後の痴呆対策の推進について」	厚生労働省老健局計画課痴呆対策室 室長 大島一博
15:10	「制度・生活実態から見た痴呆性高齢者の権利擁護について(仮)」	座長: 筑波大学大学院 教授/日本成年後見法学会 理事長 新井 誠 東京都老人総合研究所痴呆介入研究グループ 参事研究員 本間 昭
(40分)	講演1「医療問題の側面から」 Institut für Gerontologie der Universität Heidelberg (ハイデルベルク大学老年学研究所所長) アンドレアス・クルーゼ *痴呆を呈する疾患に関する基礎および臨床研究の現状	
(15分)	〔指定発言〕 東京都精神医学総合研究所精神保健医療システム研究部門 主任研究員 五十嵐 禎人	
16:05 (10分)	休憩	
16:15 (40分)	講演2「介護問題の側面から」 Institut für Gerontologie der Universität Dortmund(ドルトムント大学老年学研究所所長) ゲルハルト・ネーゲレ *ドイツにおける痴呆性高齢者と介護保険	
(15分)	〔指定発言〕 日本社会事業大学大学院 教授 今井 幸充	
17:00 (30分)	「日本側からの権利擁護の実践からの提言」 1)「痴呆性高齢者とソーシャルワーク」 日本社会福祉士会 前・副会長 池田 恵利子 2)「痴呆性高齢者とリーガルサポート」 成年後見センター・リーガルサポート 専務理事 前田 稔 3)「痴呆性高齢者の法的問題」 東京弁護士会 赤沼 康弘	
17:30 (20分)	「今後の比較研究に向けて」	ドイツ-日本研究所 研究員 ハラルト・コンラット
17:50 (10分)	「まとめ」	新井 誠